

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年12月28日更新

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ運営支援事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政策	3	教育の健康		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	牧野 淳一
	施策	11	生涯スポーツの推進		所属課	生涯学習課	担当者名	緒方 昇一郎
	施策の柱	40	スポーツの啓発と参加機会の提供		所属班	スポーツ振興班	(内線)	1509
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠 法令	スポーツ基本法 合志市社会教育関係団体 活動事業補助金交付要綱	
	一般	10	6	1	10825			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	「総合型地域スポーツクラブ」は、平成12年に県スポーツ振興基本計画で立ち上げが推進され、平成20年までに少なくとも市町村に1つ作ることが目標に掲げられた。これを受け、旧西合志町では、平成15年4月に自主運営と地域における公益を目的とした地域に開かれた総合型地域スポーツクラブとして「クラブにしよう」を設立。平成18年の合併に伴う新市誕生を経て、クラブ設立から10年の節目にあたり、平成27年度には名称を「クラブこうし」に改称。また、平成27年度には、会員数778名を数えたクラブであったが、平成28年度は熊本地震の影響もあり、年度末時点で606名に留まる等、活動場所となる施設都合により、活動を縮小することとなった。平成19年3月31日に合志市2つ目の総合型地域スポーツクラブ「ヴィーブルFUNクラブ」を設立。平成27年度会員数は665名だが、平成28年度は、熊本地震の影響もあり、活動拠点のヴィーブルと泉ヶ丘体育館が使用できず活動ができず活動が殆ど行えていなかった。活動が大幅に縮小したが、市主催の体験教室でのケアトランポリン開催や別の施設での活動等を行った。 2つの総合型地域スポーツクラブとともに、平成29～30年度において、ヴィーブルに代表される体育施設の復興とともに、活動も活発化しており、新規教室の立ち上げや会員数の増加が見られている。
【業務の流れ】	・ 総合型地域スポーツクラブへの補助金申請受付→交付業務 ※クラブこうしのみ ・ 入会受付および会議等での業務補助 ・ ユーパレス弁天施設使用料支払業務 ※平成30年度はユーパレス弁天プール閉館に伴い、使用料補助を中止 ・ 施設の確保補助 ・ クラブ事務局運営相談対応
【主な予算費目】	使用料及び賃借料・補助金
【意見や要望】	【クラブこうしについて】 ・ 入会すれば、様々な種目が体験でき、異世代間の交流もできるとの意見もある。 ・ 自らの趣味やペースに合わせてスポーツができる。一方で多岐多岐あるにも関わらず、1種目のみの参加に留まる方もいる。 ・ 現在も自立支援の補助金に頼っている状態のため、財政的な自立を促している。 ・ 事務局の体制および事務局と各教室の連携を強化することで、総合型の趣向の則った自立した団体へと改善を図っている。 ・ 一般利用枠から、クラブが優先的に施設予約を取ること、利用が制限されているとの声も挙がっている。  【ヴィーブルFUNクラブ】 ・ 熊本地震被災後に閉鎖していたヴィーブルの再開により、活動が本格化している。 ・ 熊本地震前には、参加申込みが多く、入会待ちの方が多数いた。 ・ ヴィーブル再開までに熊本地震から約2年を要し、講師や会員の環境の変化も考慮が必要である。 ・ 令和4年度からの登録・認証制度の運用開始に伴い「クラブこうし」との統合が検討されている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
総合型地域スポーツクラブの補助金申請、交付業務、事務補助・年間を通して活動の場(市の体育施設)を提供した。	総合型地域スポーツクラブへの補助金申請受付、交付業務 ※クラブこうしのみ。 事務補助・年間を通して活動の場(市の体育施設等)を半額軽減で提供する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 補助金額 円	単価変更による時間外勤務手当の増
→ イ 施設使用料減免額 円	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
合志市総合型地域スポーツクラブ	→ ア クラブ数 団体
	→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
総合型地域スポーツクラブ事業計画に則り、自主的かつ自律的に事務局が運営を行い、各教室において事故なく活動ができる。	→ ア 事業計画に則り、事故なく活動ができた事業の割合 %
	→ イ
*③成果指標設定の理由と 5年度目標値設定の根拠 総合型地域スポーツクラブが問題なく運営されているか示すために設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 円	763,000	687,000	687,000	687,000	687,000	611,000	611,000	611,000
	イ 円	491,790	575,660	550,000	1,146,080	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
② 対象指標	ア 団体	2	2	2	2	2	2	2	2
	イ								
③ 成果指標	ア %	70	70	100	70	100	100	100	100
	イ								
投資 入費 量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	783	721	793	791	797	737
	(A) 事業費計	千円	783	721	793	791	797	737	737
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0
		人件費	千円	1,596	1,583	1,992	1,636	1,992	1,992
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,379	2,304	2,785	2,427	2,789	2,729	2,729	
	人	5	5	5	5	5	5	5	
延べ業務時間	時間	405	405	500	430	500	500	500	
	(B)人件費計	千円	1,596	1,583	1,992	1,636	1,992	1,992	1,992

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ運営支援事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> 感染症拡大により、会員募集や教室開催ができず、各クラブの事業計画に影響があった。感染症の感染防止対策をとりながら教室を開催しているが、施設の利用制限もあり、達成できなかった。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】 <input type="checkbox"/> 感染症拡大の状況によるが、予定どおり事業実施が出来れば達成の見込みがある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> 教室の活動の活性化が見込め、事業としての新規教室の立上も進む見込みである。また、自立に向けた中期的な取り組みを進め、補助金等の減額に繋げていく。補助を受ける団体から、市民に向けたスポーツ振興や健康維持、交流の担い手としての成長が見込まれる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> 本事業には、「クラブこうし」と「ヴィーブルFUNクラブ」の2つのスポーツクラブがあり、「ヴィーブルFUNクラブ」はトランポリンのみの競技で行なわれているということと、運営方法や会費等の問題もあり、現在は統合できない。また、類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> 「クラブこうし」は平成30年度に設立15周年を迎え、自立支援の趣旨で行なう補助金の見直しを段階的に行なっている。財政面だけでなく、クラブとしての質や、総合型としての運営力を高め、クラブとしての自立を進めることで、補助金等の削減ができる。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> 事務局員は、総合型地域スポーツクラブで雇用する職員に加えて、市の担当課職員である。クラブの事務については、できるだけクラブの事務局員に任せるようにしており、市の職員はクラブの組織確立に向けた育成および連携に努めている。将来はクラブが完全自主運営できる体制を目指しているため、削減余地がある。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> 多くの種目・教室数がある「クラブこうし」は、パンフレットを区長便で回覧を行なうほか、HPやSNS等を駆使し、積極的に情報発信を行い、受益機会を公平に与えている。予算の見直しや会費の値上げ等については協議を行っている。会費の値上げについては、事業内容等を精査しながら慎重に行うべきである。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> 現時点での移行は難しいが、中長期的な段階を踏まえ、自主運営に移行でき得る団体の育成を図る。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

「クラブこうし」「ヴィーブルFUNクラブ」共に、会員を増やし発展している。今後も自立した運営になるよう、活動支援が必要である。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						